

# しゃくなげ共同作業所 だより

2011年 平成23年7月号 (No.13)

NPO しゃくなげ  
京都市右京区京北周山町高梨子 12  
電話&FAX 0771-52-1945  
[http://shakunage.com/  
kss@shakunage.com](http://shakunage.com/kss@shakunage.com)  
発行責任者 林 隆男

## 初夏！ ナガイ梅雨をのこえて



自主を考えている方  
私たちは見守っています  
しゃくなげ共同作業所  
☎ 0771-52-1945

### > お問い合わせ先 京北出張所 <

- \* 知的、身体の方 福祉担当 52-1815
  - \* 精神の方 保健担当 52-1816
- 又は、当作業所までご連絡下さい。

### < 6月の出来事 >

- 3日 ほっとはあと総会 ハートピア京都
- 6日 ハートプラザ KYOTO 福祉フェスタ
- 7日 布買出し 職員2名
- 8日 丹波支援学校 訪問販売
- 13日 民生委員さんと畑作業
- 14日 ウッディー京北 生鮮食品部会
- 18日 山希林 オープン
- 21日 防火管理者研修 (2日間)
- 27日 民生委員さんと畑作業
- 29日 銚杉塾「盆栽作り」展示販売
- 30日 展示即売会 イオンモールハナ



☆福祉フェスタ☆  
京都新聞にしゃくなげの授産品販売模様が掲載されました。  
本人もビックリ！

### > 7月の予定 <

- 1日 さおり織 糸買出し 職員2人
- 4日 ホームヘルパー2級研修 職員2人  
(7月中 豊和園にて実地研修)
- 15日 丹波支援学校 (寄宿舎) 訪問販売
- 18日 お誕生会
- 21日 避難訓練 (消防署: 日程調整)
- 27日 山希林 第二小 学童保育貸切り  
(8月1日に変更)

## ☆ きょうされんはひとつ ☆ 全国の仲間の手で乗り越えよう！

現在きょうされんは、障害者団体間で力を合わせながらこの未曾有の状況を乗り越えていく事を大切に考え、JDF (日本障害フォーラム) の一員として、宮城、福島県のセンターを拠点に、被災地の障害のある人たちの支援にあたっています。“しゃくなげ”も“きょうされん”と共に募金、署名等の継続支援をしていきます。

### > やっと、一歩！ <

さる6月18日、待望の“山希林”オープンにこぎつけました。鮎つり解禁日前日と言う設定で今までのリハーサルの苦勞を乗り越えての開店でした。あいにくの天候で客足は伸び悩みましたが幅広い客層の人達に、ご来店いただきました。今後に期待、皆さん末永く宜しくお願いします。  
\* 平日は貸切もしています。ご相談は作業所まで。

### > 試食 お味は！ <



### > 名物・朴葉飯定食 <



### > 母校へ訪問販売 <

6月8日 丹波支援学校へ職員2人と、卒業生のメンバーさん2人が、訪問販売に行きました。顔見知りの先生が、それぞれのメンバーさんに声をかけ下さいました。卒業生のHさんは、自身で作った“布ぞうり”を得意げに先生達に説明していました。売上も6万円以上と大盛況でした。  
\* 学校、先生方のご好意に感謝いたします。



卒業生の美真世さんも、接客対応して、金銭、商品の受け渡しも行い、本人は少し疲れた様子でしたが、がんばりました。

> 民生委員さんと畑作業 <

6月13, 27日に、民生委員さんと、メンバーさんによる畑作業が行ないました。きゅうり、玉ねぎなど、夏野菜の収穫や、畑の耕作、肥料やり等、一緒になって、汗をかきました。



大きくなーれ



おいそー

> 第5回昼食会、お誕生会 <

しゃくなげ恒例となった、第5回昼食会と、お誕生会が、6月22日作業所にて、行われました。メニューは3色丼(卵、鶏肉、さやえんどう)と具だくさんの味噌汁で、回を重ねるごとにメンバーさんも手際よく、味付もうでを上げています。又、今月のお誕生者は3人で17名の仲間に祝ってもらいました。職員の男性は“もう51歳あんまりうれしくないなー”と言っていました。

> お誕生会 <



> 即売会 <



>>> ヘルパー研修日誌 <<<

5, 6月毎週金曜日豊和園での“ヘルパー研修”もやっと終盤に入り、後は施設実習を7月中に終了して、卒業です。最初に「福祉の理念」とは、人は誰もが自分らしく生きたい、それに基づき「人間らしい生活」を保障する事と考えることができます。1959年デンマークの知的障害者法によって「知的障害者の生活を、可能な限り普通の生活に近づけるようにすること」と初めて定義付けられました。こうした働きをきっかけにして急速に世界に広がり「福祉の理念」が根づきはじめてきました。私たちは「利用者さんの自立・寄り添う」の気持ちを大切に、今後も頑張っていきたいと思えます。又、一期一会、今回研修で知り合った仲間たちとの縁も大切にしたいです。



研修場所



19~60?幅広い仲間

> てんかん、て? <

てんかんは、繰り返し起きる発作性の**大脳機能障害**です。てんかん発作も突然起こる発作の一つです。それは、何秒のこともあれば、数分のこともあります。始まりが、突然なら必ず自然に終わるのが、てんかん発作の特徴です。発作そのものが致命的になることは滅多にありません。

- 「てんかんの発作に出会ったら」
- 1、気を落ち着かせ、冷静になりましょう。
  - 2、騒ぎ立てないようにしましょう。
  - 3、すぐに救急車を呼ぶ必要はありません。
- \* 発作中は、下あごに手を当てて、上方にしっかり押し上げ、気道を確保してください
  - \* けいれんが終り、大きく息を吐いたら、あごを押し上げたまま顔を片側に向けて呼吸が戻るのを待ち、意識が回復するまでそのまま静かに寝かせましょう。
- 発作に気づいた人の手助けと観察は**早期発見**。早期治療などてんかんのある人の治療と生活にとって大きな意味を持っています。
- ☆ ご理解. ご協力を お願い致します。

> 「女性の船」によるこけ盆栽体験会場に出店<

29日当作業所に隣接する体育館にて盆栽作りが催され、ふれあいセンター入り口横にて、布ぞうり等の授産品を展示販売いたしました。地域の多数の人が来られ“しゃくなげ”の存在を再認識していただきました。

> 自立支援法、新体系移行の現況 <

しゃくなげ共同作業所は自立支援法でいう「地域活動支援センター」に位置づいているが、平成24年度より京都市は実質廃止となり、今年度中に「就労継続支援B型」に移行しなければなりません。その為サービス管理責任者の配置等、新体系移行の準備を積み重ね、利用者さん、ご家族の方に説明会と、個別説明を行いました。又京都市福祉担当による利用者個別面談の付き添いを、専任職員をもって対応しています。移行後は、福祉充実のため、新たなサービスを考えます。